

2031年(創立100周年)に向けて社会変革に貢献する世界屈指のイノベティブな大学へ

戦略① 新学術領域の開拓による世界的研究拠点の形成

研究開発エコシステムの源泉となる卓抜した研究成果を持続的に創出する仕組みを構築

- 戦略的重点3分野へ投資
 - 生命医科学融合フロンティア
 - 共生知能システム
 - 量子情報・量子生命
- 量子は世界拠点化へ躍進
 - ムーンショット Q-LEAP
- 短期的研究力強化施策の策定・実施
 - Nature Index (純粋な論文数評価)
- 世界63位に上昇 国内3位
 - 昨年度 67位
- Society5.0実現に向けてELSIセンターを全国初で設置 (Ethical, Legal and Social Issues: ELSI)

戦略② 共創イノベーションによる「知」と「人材」と「資金」の好循環システムの構築

共創機構を中核として、研究開発エコシステムの発展に欠かせない円滑な社会実装を後押しする先進的な取組を実施

- 産学官共創の本格稼働(社会課題探索段階からの共創)
- 大阪大学の将来のあるべき姿 長期的視野 自社の将来のあるべき姿
 - 複数企業と複数部局との連携・協力
 - 共創による新たな価値創造
- オープンイノベーション機構設置(文部科学省事業採択)
 - 大型共同研究の獲得増加の推進
- 社会実装の推進
 - 実施許諾等収入の飛躍的な増加(約3倍)
 - 平成28年度約2.2億→約6億円

戦略③ 共創イノベーションを担う優れた人材の育成・獲得

新たな価値創造の源泉となる「多様な人材」の育成・獲得に本格的着手

- 高校～博士課程修了までの一貫通貫的教育体制の構築
 - 高校生から大学院が見える体制の構築 人材確保(博士充足)
- 社会課題解決に資する人材育成
- ダイバーシティ&インクルージョン
 - 女性教員増加数 2017,18年度 国立大学中1位 ※2019年度は2位
 - 女性教員上位職在職者数 3年連続 国立大学中1位

基盤強化① 国際協働ネットワークの基盤強化

研究開発エコシステムの循環を下支えする世界トップレベルの基礎研究展開のためのグローバル共創活動(教育研究拠点の国際化)

- OUグローバルキャンパス構想 大学初のLEED認証
- 国際特許出願数:世界ランク11位、国内1位 産学共創の国際展開
- 海外企業との共同研究:32件 平成27年度比 約3倍増
- グローバルナレッジパートナーの拡大 AI・認知症等分野でシードファンド立ち上げ

基盤強化② ガバナンス改革・財務基盤強化

阪大のポテンシャルを最大限に発揮させる一体改革【自主財源の確保策】

- 共同研究講座・協働研究所の設置数:101件 関係企業100社超え!! 国内1位
- 寄附金総額:約62億円(未来基金約15億円含む) ※2017,2018年 国内1位
- 大型共同研究獲得額:約77.8億円(166件) 国内トップクラス
- 「新型コロナ対策本部」の設置 → 迅速な学生支援・メディア教育の全学実施



次なる方向性 ▶ コロナ新時代において社会変革に貢献する世界屈指のイノベティブな大学へ

新たな価値創造に向けて総合大学の叡知を結集

コロナ新時代に向けた新たな取り組みの方向性
新たな価値創造・ライフスタイル提言に向けた教育研究の推進・学内体制の構築

新たな社会の創造へ
個々人が社会で活躍できる寿命(社会寿命)を延伸させ、あらゆる世代がその多様性を生かすことで社会を支え、豊かで幸福な人生をすべての人が享受できる社会を創造する「真のオピニオンリーダー」になる。